

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オーヴィジョン香椎浜 新築	階数	地上14F
建設地	福岡市東区香椎浜二丁目7番129	構造	RC造
用途地域	準防火地域、第二種20M高度地区	平均居住人員	1,144 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2023年2月17日
敷地面積	10,578 m <sup>2</sup>	作成者	渡邊 浩之
建築面積	2,383 m <sup>2</sup>	確認日	2023年2月20日
延床面積	23,151 m <sup>2</sup>	確認者	中尾 俊平



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 79%

③上記+②以外の 79%

④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.5

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
空住環境、機能的な空間作り、敷地内住環境、省エネルギー、敷地外環境への配慮にそれぞれ取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。	特になし
<b>Q1 室内環境</b> 全住戸は複層ガラスを使用、外壁は断熱材を吹き付けた防露壁とした。 また、シックハウス対策はF☆☆☆☆材料を使用した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 日影による周辺環境への影響を考慮し南側へ本体建物、北側へ駐車場を配置した。また、道路沿いへ植栽帯を設け、緑豊かな周辺環境に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 共用部・住戸内共に主要な照明はLED照明を採用した。 また、給湯器を潜熱回収型を採用することで省エネルギーに配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 市条例による駐車場の必要台数を大きく上回る駐車場を確保して路上駐車発生を防止し、周辺の交通負荷を増大させないように配慮した。
<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い材料等を採用し、建物の維持管理に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型器具を採用することにより、水資源の保護に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される